

研修報告書No. 8

県外大学病院研修医

地域医療研修を終えて

私は平成27年度(2015年度)5月という新緑の美しさが日々強くなる1か月間に高知県を研修医として訪れて◇◇町立□□病院及び△△町立▽▽診療所で地域医療研修をさせていただきました。

今までは卒業した大学が指定管理者となっていた〇〇市立の市中病院で1年間研修させていただきました。今回地域研修をさせていただくための荷造りの時には、医療の本質は変わらないとしても土地によって病院によって新たな発見があるのではないかと期待感があるのと同時に、自分はもう研修医2年目つまりもう研修医1年生ではないということに加え、初めて訪れる土地で研修させていただくことに対しての不安を覚えながら準備をしていたのを懐かしく思います。

実際に高知に来て思ったことは関わってくれた皆さんが優しいということでした。覚えていた不安はなくなり気持ちよく研修できたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

医療に関して1番最初に感じたこととしては、空港から高知市内とを車で通過する際に、クリニックや病院など医療機関が多いと感じました。それも学生の頃から、人口に対する医師比が高いと知識であったので矛盾しない風景かなと眺めていました。しかし研修先である◇◇町に近づくにつれ自然の風景がより強くなり散見していた医療機関の数も少なくなっていきました。中央集中と例えていいかはわかりませんがそのような印象を受けました。研修させていただいた◇◇町などでは医療機関も少なく、また□□病院では人的資源も少ないということからも医療者一人に求められる能力が幅広くそして高度である状況ではないか、と感じました。実際□□病院はじめ▽▽診療所でもお世話になった先生方はどなたも医師として尊敬できる幅広い能力の持ち主であり尊敬と憧れを抱かせ今後自分のスキルアップのモチベーションになりました。

他にも特有の状況としては高低差の激しい山間部が多く、その地に住む人たちに対する医療提供の問題は首都圏では想像するのが難しく、研修させて頂くことで貴重な体験となりました。

また高齢者が多いことも特徴的な状況でした。その中でも超高齢者でも独居通院されている方や老老介護をされている方も多く、一度体調を崩された時やその後の対応の難しさを常に意識する必要があることも勉強になりました。

今回の研修では介護老人保健施設やデイケア・デイサービスなど病院外での研修や病院内でも検査室や介護室・リハビリセンターなど今までの研修医生活ではなかなか踏み込みにくい部署での研修が密にできたことも大変有意義であったと思います。

上記のような地域研修であったため最初に感じていた不安は杞憂に過ぎず期待を上回る有意義な研修期間を過ごせました。感謝の言葉もございません。今まで医療者として狭い見通ししかできておらず今回それを幅広いものにすることができたと思います。今回のような新たな発見をしていけるようにこれからも研修を励んでいきたいと思いを新たにいたしました。